

◆基本集計

問 1 高槻市の障がい者を取り巻く状況や身近で感じる課題などで、特に気になる分野は次のどれですか。(MA)	全体件数	11
---	------	----

項目	回答数	割合
1. 保健・医療について（健診、障がいの早期発見や療育、医療体制など）	6件	54.5%
2. 生活支援サービスについて（障がい福祉サービスの提供など）	6件	54.5%
3. 相談・情報提供について（相談体制、情報提供、権利擁護など）	7件	63.6%
4. 障がいのある子どもの教育・育成について（保育・療育、特別支援教育、放課後対策、進路指導など）	7件	63.6%
5. 雇用・就労について（雇用・就労の促進、地域の中の働く場づくり、福祉的就労など）	4件	36.4%
6. スポーツ・文化芸術活動について（参加の機会、活動の場など）	3件	27.3%
7. まちづくりについて（施設・情報のバリアフリー、移動手段、防犯・防災など）	3件	27.3%
8. 障がいと障がいのある人への理解について（障がいへの理解促進、地域での交流・ふれあいなど）	10件	90.9%
9. 地域福祉の推進について（ボランティア活動の推進、関係団体との連携など）	1件	9.1%
10. その他（具体的な内容をお書きください）	3件	27.3%
無回答	0件	0.0%
全体	11件	100.0%

選択肢10 記述内容
障害の診断の有無にかかわらず支援が受けられることの周知と、特別支援教育を受ける児童生徒を通常学級と分断しないこと（就学相談や教育相談のメインメニュー扱いを）当事者の参画を積極的に推奨・支援してほしい
障がい者への理解があつてのバリアフリー。
①医療費の負担が多くて生活に困難をきたしている。
②急性期の対応を医師・福祉・看護・家族のチームで取り組んで欲しい。
③急に入院しなければならない時のために、高槻市内の病院のベットを空けていて、救急患者を受け入れるシステムを取り入れること。（当番病院が遠方だと、家族の負担が多い）
④退院時のカンファレンスの充実とチームで3年くらいの見守りがあると、退院した後家族に負担がかからないのでは。
インクルーシブ教育の推進にむけ、教育の果たす役割の大切さを感じています。

問 2 本市の障がい者福祉サービスで、不足していると思うサービスは何ですか。(MA)

項目	回答数	割合
1. 居宅介護	4件	36.4%
2. 同行援護	3件	27.3%
3. 重度障がい者等包括支援	3件	27.3%
4. 短期入所	3件	27.3%
5. 療養介護	0件	0.0%
6. 生活介護	3件	27.3%
7. 施設入所支援	3件	27.3%
8. 共同生活援助（グループホーム）	5件	45.5%
9. 自立生活援助	2件	18.2%
10. 自立訓練（機能訓練）	2件	18.2%
11. 自立訓練（生活訓練）	0件	0.0%
12. 就労移行支援	1件	9.1%
13. 就労継続支援（A型）	2件	18.2%
14. 就労継続支援（B型）	1件	9.1%
15. 就労定着支援	1件	9.1%
16. 就労選択支援	2件	18.2%
17. 相談支援事業（委託）	4件	36.4%
18. 計画相談支援	5件	45.5%
19. 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	0件	0.0%
20. 移動支援	4件	36.4%
21. 日中一時支援	3件	27.3%
22. 児童発達支援	0件	0.0%
23. 居宅訪問型児童発達支援	1件	9.1%
24. 放課後等デイサービス	3件	27.3%
25. 保育所等訪問支援	2件	18.2%
26. 障がい児相談支援	4件	36.4%
無回答	0件	0.0%
全体	11件	100.0%

問 3 障がいのある人の高齢化、重度化や「親亡き後」も見据えつつ、住み慣れた地域で安心して暮らしていける支援を地域全体で支える体制を整備する場合、特に必要だと思う支援は何ですか。(2LA)

項目	回答数	割合
1. 地域で安心して暮らすための相談の支援	3件	27.3%
2. 親元等からの自立の相談や地域で暮らすための相談の支援	0件	0.0%
3. 障がいのある人やその家族からの相談に応じる体制	3件	27.3%
4. 地域移行や、親元等から自立した日常生活を送るための支援	4件	36.4%
5. ひとり暮らしに向けた社会生活の体験的宿泊の機会	2件	18.2%
6. 自身の急な体調不良や介護者または保護者の急病等の場合などに、事業所や関係機関、医療機関への連絡等の対応	3件	27.3%
7. 行動障がいのある人や、高齢の障がいのある人などへの専門的な対応ができる体制の確保や支援を行うことができる専門的な人材の養成	7件	63.6%
8. その他	1件	9.1%
無回答	0件	0.0%
全体	11件	100.0%

問4 障がいのある人の人権の尊重や権利擁護について

この5年ぐらいの間に、人権尊重や権利擁護が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	2件	18.2%
3. どちらとも言えない	6件	54.5%
4. あまりそう思わない	3件	27.3%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%
無回答	0件	0.0%
全体	11件	100.0%

問5 障がいのある人の地域における生活支援について

この5年ぐらいの間に、障がいのある人の地域における生活支援の取組が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	2件	18.2%
3. どちらとも言えない	6件	54.5%
4. あまりそう思わない	2件	18.2%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%
無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

問6 障がいのある人に対する保健・医療の充実について

この5年ぐらいの間に、障がいのある人に対する保健・医療の取組が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	2件	18.2%
3. どちらとも言えない	5件	45.5%
4. あまりそう思わない	3件	27.3%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%
無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

問7 障がいのある子どもへの支援、療育・教育について

この5年ぐらいの間に、障がいのある子どもへの支援、療育・教育が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	1件	9.1%
3. どちらとも言えない	5件	45.5%
4. あまりそう思わない	3件	27.3%
5. 全くそう思わない	1件	9.1%
無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

問8 障がいのある人の雇用・就労について

この5年ぐらいの間に、障がいのある人の雇用・就労に関する支援が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	2件	18.2%
3. どちらとも言えない	5件	45.5%
4. あまりそう思わない	3件	27.3%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%
無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

問9 障がいのある人の地域での社会参加について

この5年ぐらいの間に、障がいのある人が地域で心豊かに活動するための取組が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	3件	27.3%
3. どちらとも言えない	5件	45.5%
4. あまりそう思わない	2件	18.2%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%
無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

問10 障がいのある人の地域での安心・安全な暮らしについて

この5年ぐらいの間に、障がいのある人が地域で安心・安全に暮らすための取組（災害対策、防犯対策、交通手段の確保、生活環境など）が進んでいると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	0件	0.0%
2. ややそう思う	2件	18.2%
3. どちらとも言えない	5件	45.5%
4. あまりそう思わない	3件	27.3%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%

参考 3

無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

問11 障がいのある人の情報確保について
この5年ぐらいの間に、障がいのある人が情報を入手しやすくなっていると思いますか。

項目	回答数	割合
1. とてもそう思う	1件	9.1%
2. ややそう思う	3件	27.3%
3. どちらとも言えない	3件	27.3%
4. あまりそう思わない	3件	27.3%
5. 全くそう思わない	0件	0.0%
無回答	1件	9.1%
全体	11件	100.0%

障がい者団体アンケート自由記述まとめ

問4 障がいのある人の人権の尊重や権利擁護について	
	大阪府条例では国に先駆けて既に令和3年から事業者にも合理的配慮が義務化されているにもかかわらず、差別解消の相談件数が増えていないことから、理解が浸透していないと感じます
	高槻市において、独自の「差別解消条例」を制定し、広く市民に啓発をする必要がある
	進んでいるのかがわかりにくい。
	進んでいるとは思えない
	進んでいないと困る。そのための日常の活動だと思っている。
	障害児者のもっとも基本となる「基本的人権の尊重」についての研修会、学習会の数が少ないので増やしてください。
	言葉は聞くようになったけど実際はどうかかわからない。
問5 障がいのある人の地域における生活支援について	
	評価の理由：変化の実感がない
	課題や困りごと：親亡きあとへの漠然とした不安
	高齢化と重度化している。
	進んでいるとは思えない
	福祉サービスいろいろ利用したくても、資源が足りない。
	グループホームでの実態があまり見えてこない。
	進んでいるようにも感じるがニーズが多くておいついてないように思う。
問6 障がいのある人に対する保健・医療の充実について	
	評価の理由：変化の実感がない
	課題や困りごと：
	難病研究をすすめてほしい。
	重度障がい者医療費制度の拡充がなく、現に医療費が高く払えなくて医療につながらない人がいる
	精神の2、3級の方にも医療費の助成をしてほしい。知的障がいの方でおむつの必要な方にも助成を。
	事業所で検診はあるが、胃のレントゲン、大腸がん、子宮がんはない。
	重度の人が入院になったとき、付き添いが必要になって家族の負担が増えるのではと心配だ。
	市の施策やサービスは年々充実していると思います。
	特になし
問7 障がいのある子どもへの支援、療育・教育について	
	評価の理由：通級指導教室が増えたことは前進と言えるが、全校にニーズがあるはずにもかかわらずまだ未設置の学校もあり、「進んでいる」とまでは評価しがたい
	課題や困りごと：ニーズがあるのに支援につながる事ができていない子（スティグマ感等によると推測される）。
	高槻市内の身近な人の例で、小学1年の子が、問題行動が多いとされ、先生から次年度は特別支援学級に入ることを強く勧められ、しかもそれまでの間一人だけの部屋で待機させられる時間常も作られたという事例があった。その後謝罪を受けてその措置はなくなったが、強く勧められたのでやむなく医師に診察を受けた際、医師からも『この低学年で障がいを決めつける必要があるのか』と疑問を呈された。このことだけから見るとあたかも障がい学校によって作られている。教育現場が子供に対する障がいになってしまっており、閉ざされた環境で独断専行をさせない取り組みが必要ではないか。
	点字を教えてくれる人が少ない。一般学校に専門的な指導ができる人を増やしてほしい。
	進んでいるとは思えない
	子どもの短期入所や日中一時、ガイドヘルプ、放デイなど足りなくて利用したいと思っても受け入れを断られることがある。子どもも、家族以外の大人や、家以外の場所での経験が必要と思います。
	インクルーシブと言いながら、支援級在籍だと、学級の定員にカウントされないのは、疎外感を感じる。子どもを分けないで、障がいの重い子も適切な支援を受けながら普通の場で育ち学べるようであってほしい。
	学校教育の中で「共に生き、共に学ぶ」方向が逆行し、分離教育に進んでいる。高槻の統合教育についての検証が欲しいです。
	働く人が多くなったことで支援の先延ばし等が起きてないのか気になるところです
問8 障がいのある人の雇用・就労について	
	評価の理由：変化の実感がない
	課題や困りごと：
	全国的には問題ある事業所もあったが、就労継続支援A型が広まった。
	視覚障がい者が相談や職場体験の出来る所がない。ジョブコーチがいたらありがたい。
	進んでいるとは思えない
	工賃が安すぎる。年金2級だと生活できない。
	就労定着支援と就労選択支援が始まっていますが、良い方向に成果はあるのでしょうか？
	情報がないので分かりません。
	形は進んでるように見えても利益ばかり追い求められているようで就労に失敗していても、ふりかえりがないように思う。職業マッチングより企業のもうけのような・・・

問9 障がいのある人の地域での社会参加について	
	評価の理由：変化の実感がない
	課題や困りごと：
	取り組みが進んでいるというよりは、当事者ががんばって社会参加に取り組んでいる。
	絵画展や、福祉マルシェなどの活動について少しだが、進んでいる
	家やグループホームと日中活動の事業所との行き来だけの生活になっている。
	本人ひとりでも安心して過ごせる余暇の場がない。
	身近な施設（サニースポット）で、多くの障がいのある方が仕事しているのを見受けるので。
	JRがひどい。駅員いないにもほどがある。なんでも窓口予約とかスマホ対応は難しい人も多い。

問10 障がいのある人の地域での安心・安全な暮らしについて	
	評価の理由：変化の実感がない
	課題や困りごと：
	意見が伝わっているのかわからない。
	バスなど減っている所に、住めないし、そこへカバーしてくれるコミュニティバスなどがほしい。
	進んでいるとは思えない
	要援護者名簿は、本当に正しく活用されているのか知りたい。援護する人も高齢化が進んでいるのではと心配。
	近くの施設で避難訓練をしているのを見ているので。
	もっと進めていただきたい。

問11 障がいのある人の情報確保について	
	評価の理由：変化の実感がない
	課題や困りごと：
	ネットを使える人は、少し増えましたが、インターネットを使えない人はとり残される。
	QRコードが増えてこまる。
	市役所の窓口で情報の徹底がされていない事例があった。
	知的障がいの軽度の人は、スマホとか利用はするが、安易に信用したり正しく理解できなくて騙されたりというリスクが大きくなっている。今年度知的障がいの人向けのスマホ教室を実施くださってありがたいです。逆に、親世代は、スマホやWEBになじみがないのでテレビや紙の情報ありがたい。
	インターネットやSNSを活用して知りたい情報が見つけやすくなったと思います。
	高障連事務局から、こまめにメールで情報が流れてくるので大変たすかっています。引き続きよろしくお願いします。

問12 貴団体に属する方の障がい種別に関する支援体制等について	
	問11までに書いた所です。
	車椅子や杖など見かけたら、声を掛けてほしい、歩道もガタガタな所が多い、バスなど譲り合って乗り降りしてほしい。
	医療費助成の拡充を願っている
	今一番の問題は、親の高齢化です。親亡き後子どもを託せる場所が、グループホームしか選択肢がない状況なのに、障がいがある（行動障がいなど）とグループホームの入所を断られることがある。障がいがあるだけでも受け入れが進むようにしてほしい。
	うちには手帳を持たない障がいの方がいます。そういう方の理解や支援もよろしくお願いします。
	咽頭摘出者は音声機能障害がありますが、他は一般健常者と同じで特別な支援は必要ですが、日常装具品（電気式人口咽頭等）の購入補助が一番ありがたいです。喉友会での発声指導がないと個人での発声練習では上達に時間が掛り過ぎるので、喉友会が無いと大変困ります。

問13 障がいのある人や子どもが高槻市で暮らし続けるために、必要な場所やサービスについて、今後充実を希望すること	
	* 親亡き後を支える仕組み ・ グループホームや、自宅一人暮らしを支えるヘルパー等の社会資源の充実 * 学校の通常学級のインクルージョン推進
	保育所では一緒に過ごせていた子どもたちが、就学後は保育所のように一緒に過ごせなくなり（学びの場や生活の場の分離）、障がいのある子を含め、多様な子が関わり合う経験が少ないまま大人になる子が大半。社会のインクルージョン推進のためには、子ども時代の環境を変える必要があると思います。
	駅近くに障がい者が困り事を相談できる所がほしい。
	駅近くに第2ゆうあいセンターがほしい。
	ハード面を作る時は 当事者に聞いてほしい。
	公園、障がいのある方でも遊べる遊具がほしい。公園の中にトイレがほしい。
	高槻市差別解消条例の制定を希望します
	活動場所としての、ゆうあいセンターの利用しやすさを引き続きお願いしたいと思っています。
	一人暮らしを実現しやすいように、賃貸物件を借りやすいように、周囲の理解を進めてもらいたい